

**No.194**

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように  
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

卷頭	秋の多文化ボランティアセミナー開催報告	..... 1	書評	『やさしい猫』を読んで	..... 4
寄稿	メキシコからの国際交流員として、4年間の活動を終えて	..... 2	カレンダー	2023年11月のcomm cafe ランチカレンダー	..... 5
報告	comm cafeでフリマボックスに出店してみた！	..... 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ	..... 6

## 今回のテーマは「教育」と「ともにつくる地域づくり」 秋の多文化ボランティアセミナー 開催報告

2023年9月に秋の多文化ボランティアセミナーを開催、のべ40人が参加した。

9月16日（土）に行った第1回では、大阪大学人文学研究科講師の近藤美佳さん、箕面市人権施策室の赤城龍一さん、外国にルーツを持つ子どもの学習支援「さぼると」ボランティアの井川恵子さんを招き、講演とパネルディスカッションを行った。まず、近藤さんから外国にルーツを持つ子どもの現状と課題、「阪大ふくふくセンター\*」の紹介などがあり、続いて赤城さんから箕面市立小・中学校での支援の内容などが共有された。井川さんからは「さぼると」での支援内容を中心に、協会の取り組みの紹介があった。

登壇者それぞれからの共有があった後は、パネルディスカッションとして、「これから箕面市の多文化子どもサポートを考える」というテーマで、ざっくばらんに話し合った。「日本文化・学校文化になじめない子ども」とひとくちに言うが、なじむように強いているのはホスト社会の側。無理になじまなくても、日本語を覚えなくても、母語でも良いので、子どもたちが自尊感情を持てたら」という近藤さんのコメントに対して、「実

際問題、日本の学校において日本語支援なくして子どもの成長をサポートできるのか」、「学校現場での母語支援の現状は？」などといった活発な意見交換が行われた。

「阪大の学生・卒業生には、多様なルーツや文化背景を持ち、葛藤を経験してきた人も多くいる。ふくふくセンターでは、そうした人たちにメディエーター（仲介する人）として登録してもらい、地域の子どもにもその経験を還元してもらえた」と話す近藤さん。協会の子ども事業でも、にわかに参加する子どもが増えており、多様化する子どものニーズや課題に対応することが急務となっている。この日のセミナーは、今後の阪大ふくふくセンターも巻き込んだ展開に向けての第一歩を踏み出すような場となった。



発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：293名 法人会員数：26団体（2023年10月13日現在）

9月30日（土）に行った第2回では、一般社団法人「北の風・南の雲 Future Asia」代表で大阪大学客員教授の思沁夫（スチンフ）さんを招き、講演を行った。スチンフさんは中国・内モンゴル自治区出身のモンゴル人。文化大革命の影響で親元を離れ学校に通えなかったため、13歳まで字が読めなかった。その後独学で中国語を勉強。北京大学で法律を学び、弁護士になるが、中国で少数民族の人権に関わる仕事を続けるのが難しくなり、留学生として来日。金沢大学大学院修了後、ロシアやドイツの大学で教えた後、大阪大学教員となった。阪大では、2010年から「海外フィールドスタディー」（中国・雲南省10回、モンゴル国8回）を始めた。現地の人々と協力し、雲南省では有機栽培のコーヒーブルーム、モンゴルでは生物多様性保全教育センターを設立し、絶滅危惧植物保護活動を展開していった。2015年には、海外フィールドスタディーに参加した学生たちを中心 "モンゴル雲南会（130人以上、8の国と地域から参加）" が結成された。

海外での経験を日本で実践するべく、2020年からは、兵庫県宍粟市で地域活性化の取り組

みを始めた。宍粟では、地元の中小企業とモンゴル雲南会のメンバーで地域の課題を共に考えたり、市場・貨幣を介さない交換システム（農家が育てた野菜と学生による労働など）を設けたりといった、学生（文系・理系）や教員、地域の人々を巻き込んださまざまな取り組みを行っている。さらには、オンラインで宍粟とモンゴルの小・中学生を繋ぎ、地元の川を調べる環境教育プログラムも。今夏、宍粟の子ども8人、大人2人がモンゴルへ行き、遊牧の暮らしを体験した。

スチンフさんは、地方のために生かす研究・教育・実践の一体化の過程のことを「知の地方化」と呼び、「知を応用することで、地方の課題解決に貢献でき、学生たちも元気になる、たくましくなる」という。「知の地方化」は、都会に大学、情報や仕事が集中し、地方の若者たちが都会に行って戻らない現状に対する挑戦でもあると語られた。

次回のセミナーは、来年春の予定。ますますの参加を期待したい。（坂口、バイサ）

\*大阪大学大学院人文学研究科附属複言語・複文化共存社会研究センターの愛称。外国にルーツを持つ子どもたちへの支援活動を中心に行うため、2023年4月1日に設立された。

## メキシコからの国際交流員として、4年間の活動を終えて

皆さん、こんにちは！私はメキシコ・クエルナバカ市出身のクラウディアです。久しぶりですね！残暑はいかがでしたか？空が澄み清々しい秋を感じる頃となりました。

私はJETプログラム（地方公共団体で国際交流活動に従事する外国人青年招致事業）に採用され、2019年8月から2023年8月までの4年間、国際交流員（CIR）として箕面市文化国際室に勤務し、今まで箕面市役所に勤めたCIRとして私が一番長く勤務したことになりました。日本の滞在はこの4年間が一番長く、素敵な人と知り合って、いろいろな友だちができて、私はとてもラッキーな人だと思います。

日本で仕事をすることは私の夢でした。私は2002年に初めて1ヶ月だけモレロス大学の箕面研修生として来日しました。そのときは箕面市のあふれる魅力（豊かな緑・市民の優しさな

ど）に感動しました。日本で仕事をしたいという10代のころからの夢を叶えるため、諦めずに頑張りました。そして、CIRとして17年後やっと日本に戻ってくることができました！



CIRとして様々な経験ができました。仕事では、メキシコの文化を紹介することができました。市役所の仕事は初めてで大変でしたが、経験して良かったです。一番大変だったのは日本語だと思います。ネイティブ日本語を1日中聞いて、専門用語もいっぱい出て、半分くらいしか分かりませんでした。しかし、皆が丁寧に教

えてくれて良かったです。また、日本とメキシコとのマナーについて、違うことがあります、日本に4年間住んでみて、だいぶ日本人のマナーを理解することができました。

日本で人生初のことを行なってきました。例えば、メキシコ南部では雪が降らないので、雪を見たときは感動しました。初スキーをしたときは、大変でしたが、楽しかったです！（笑）

もう一つ印象に残っているのは、多文化交流センターにあるコムカフェのシェフとしてメキシコ料理を大量に作ったことです。メキシコで家庭料理を作ったことはありました、大量の料理を作るのは初めてでした。メキシコ料理は大人気で、予約の弁当が多く、ある時は110人分以上を作りました。今まで一番たくさん量

を作ったのはメキシコ料理の日だと思います。もちろんたくさん作るためには、サポートが大事です。MAFGAのスタッフやボランティアさん、野村さん、印藤さん、トレースさん（ニュージーランドからのCIR）が手伝ってくれました。皆さんのおかげで順調に料理ができて、うれしかったです。

この4年間は素晴らしいです！皆さん、いろいろなことを丁寧に教えてくれて、困った時にすごく助けてくれて、ありがとうございます。何度も書いても感謝の気持ちが足りないです。今はメキシコに帰っていますが、また日本で過ごせるようにしたいので、会える日を楽しみにしています！

## comm cafeでフリマボックスに出店してみた！



comm cafeに入つてすぐ左手に、フリマボックスが設置されているのをご存知だろうか。空きスペースで何かできれば、というところから始まったのが2019年1月。12区画あり、雑貨などが売られている。

常設の「FADAS」では、手編みのフローチやストラップ、ポーチ、バッグなどが好評。コロナ禍、マスク不足のときには布製のマスクを製作し、飛ぶように売れたとか。色や柄のリクエストにも応えたという。他にも、写真を撮るために封を開けただけのシーツはお値打ち品になっていて、これも人気だ。過去には、子どもが使わなくなった玩具をセットにしてクリスマス用に包装したものや、受験生に必須の赤本が出品されたこともあります。一方、自作の陶器や手芸品などは自己表現の一つであり、ボックスは貴重な発表の場にもなっているようだ。観てもらえば売れなくてもよし、買ってもらえばなおよし、そういうスタンスもある。ただ、ボックスを借りる人が固定化しているので、もっといろんな人に出品して欲しいと担当者は願っている。

ということで、筆者も挑戦することに！取材をした日、区画に空きがあるのを知って早速申し込んだ。何事も経験である。出品物は、セカンドハンドの花瓶やキャンドルホルダー、アクセサリーなどに決めた。ネットで調べると、おしゃれな展示方法がいっぱい。家にあった百均グッズを使って値札付やラッピングをするのも楽しかった。次は、本を並べるつもりだ。状態が良いので処分することのできなかった物たちを、気に入つて使ってくれる人が現れますように……。

図書館やカフェの利用時に、ちょっとのぞいてみれば掘り出し物が見つかるかもしれないボックス。空きがあれば、誰でもオーナーになれる手軽さも魅力である。新品、セカンドハンド、手作りを問わず、利用者が安心して購入できる物品であれば商品は自由、工夫次第で小さなお店を開けるのだ。出店料は月1,500円程度。興味のある方は、コムカフェに是非ご連絡を。（山下）

TEL: 072-734-6255 Email: comcafe@mafga.or.jp





## 『やさしい猫』を読んで

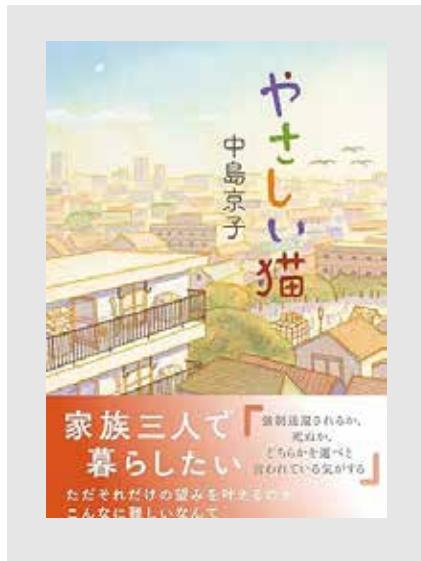
協会インターン・國府優花

「入管法って、何年か前に入国管理局の対応が酷いって問題になったやつだっけ、そんなことが話題になったこともあったな…。」『やさしい猫』が入管法についての問題提起を含んだ小説だと知り手に取ったとき、私の中にある入管法についての知識は、知識と呼んでいいのかもわからないような、ぼんやりとしたものだった。よくわからなくて、難しそう、と、どこか他人事で、遠くにあることのように思っていた。

この物語では、シングルマザーのミユキとスリランカ人のクマラが、ある出来事をきっかけに出会って惹かれ合い、結婚したいと思うようになる。クマラは日本にオーバーステイしていたものの、ミユキは結婚すれば日本国籍が取れると思っていた。しかし、その願いは叶わず、在留資格を得るために婚姻届を用意して入国管理局に行っている道中に入管法違反で逮捕されてしまう。クマラは施設に収容され、辛く厳しい生活を送ることになり、結婚したいという気持ちも偽装結婚だとみなされて認められない。ミユキはクマラの無実を証明するために裁判を起こす。

この物語を通して、入管法の問題をぐっと身近に感じるようになった。施設の過酷な現状と家族の悲痛な思いが、ミユキとクマラの経験を通して鮮明に伝わってくる。これは日本の現状で、私たちの国の問題なのだ。2021年、あるスリランカ人女性が入管収容中に亡くなった。彼女は体調不良を訴えていたにも関わらず、取り合ってもらえなかっただ。事件が起ったときには様々なメディアに取り上げられ、大きな話題となつたが、少し経つと多くの人に忘れ去られ、過去のものようになった。私も忘れ去ったうちの1人だ。『やさしい猫』を通して、この問題は現在進行形で起こっていること、たくさんの人人が苦しんでいることに気付かされた。

この物語は今年ドラマ化されたが、SNSには放送前から作品への批判の声も見られた。しかし、オーバーステイは行政法違反に過ぎない。そもそも「不法滞在者」ではなく「非正規滞在者」と表すのが国際基準になっている。ドラマを見る前から実情を知ろうともせず批判するような姿勢によって、入管法の問題が解決されづらくなっているのではないだろうか。自分の意見を一方的に押し付ける前に、まずは知ることから始めなければ問題解決は図れないと思う。この本を読んで、入管法の実態について知ること、そして多くの人が意識的にこの問題について考えることが大切だと強く感じている。



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科						
<b>おざわクリニック</b>						
診療時間 月 火 水 木 金 土 am9:00～12:00 ○ ○ ○ / ○ ○ pm1:00～3:00(胃カメラ) □ □ □ / □ / pm5:00～7:30 / / ○ / / / ※診療開始30分前から受付します。						
■胃カメラは予約制です(印) ■休診日:月・火・金・土曜午後、木曜、日祝日 ■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/ 【住所】562-0023 箕面市生田谷西3丁目7-9シャトー野間1F 阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い ●無料駐車場有 <b>072-730-0721</b>						

**エスペー**  
**能勢**  
*- espero nese -*  
**フェアトレード雑貨と古民家カフェ**  
**豊能郡能勢町地黄 476**  
**営業時間: 金～月 11:00～17:00**  
<http://espero-osaka.com/>

**箕面市国際交流協会の  
多言語による生活相談窓口**

**電話** 072-727-6912  
 (日本語・英語)  
**メール** soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに応じます。  
 密度厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00～17:00  
 受付方法: 来館、メール、電話  
 対応言語: 日本語、韓国語、朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語  
 場所: 箕面市立多文化交流センター

**11月 November comm cafe ランチカレンダー**

**火・木～土**

9:30 - 11:30 朝カフェ  
 11:30 - 14:00 ランチ ¥950 \* 売り切れ次第終了  
 14:00 - 17:00 午後カフェ

**日・祝日**

\* ランチはありません

10:00 - 13:00 世界の朝ごはん ¥770 (ドリンク付)

**おしらせ MOOK 本完成！**

コムカフェ MOOK 本「世界をつまみ食い！1つのカフェ×6つのしそく～食・触・職・色・織・ショック！？」が刊行されました。この MOOK には、10年以上に及ぶこのカフェのあゆみがギュッと一冊にまとめられています。

カフェに置いてありますので、手に取ってぜひ読んでみてください。お買い求めを希望される方は、スタッフまで直接お問い合わせください。

ス … スナック & スワイーツの日 1 … カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
		1 店休日	2 MAFGA スナック	3 MAFGA スナック	4 フランクリンさん «キューバ»	5 MAFGA スナック
6 休館日	7 コスさん «タイ»	8 店休日	9 山口さん «中国»	10 MAFGA スナック	11 店休日 多民族フェスティバル 10:00～15:00 小野原公園にお越しください！	12 MAFGA スナック
13 休館日	14 ノックさん «タイ»	15 店休日	16 MAFGA スナック	17 ルーパさん «インド»	18 いすみさん «ベトナム»	19 ハットジャパンデイ 1オンライン交流会 9:30-11:00 MAFGA スナック
20 休館日	21 ノックさん «タイ»	22 店休日	23 店休日 1 フォーラムシアター 9:30-16:30	24 洪さん «コリア»	25 ルーパさん «インド»	26 1 ベトナムデイ 12:00-14:00
27 休館日	28 フアルザナさん «バングラデシュ»	29 店休日	30 フランクリンさん «キューバ»			

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニュー・シェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。<https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



# 国際交流協会（MAFGA）からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは（公財）箕面市国際交流協会まで スマートフォン・パソコンからの参加申込みも可能です。  
URLもしくは二次元コードからアクセスして、各イベントのページから申込みください！

## 【申込み先】

☎ : 072-727-6912 FAX : 072-727-6920 <https://mafga.or.jp>



## イベント情報

特に記載がないものは、箕面市立多文化交流センターで開催します。

### フェスティバル

**11/11 (土)  
10:00-15:00**

### 多民族フェスティバル 2023

今年は、「世界の屋台村」が復活！ワールドマーケット（世界の雑貨販売・フリマ）せかいのあそVIVA！、ステージパフォーマンスなど。子どもがつくった手作り楽器をつかった観客参加型のステージも。

場所：小野原公園（箕面市小野原西）  
※雨天時は多文化交流センター  
参加費：無料（一部有料）※申込み不要  
主催：多民族フェスティバル 2023 実行委員会  
問合せ：072-727-6912（協会）

### キューズリビング

**11/22 (水)  
① 10:30-12:00  
② 13:30-15:00**

### 食べてつながる、このひと、この世界

地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに試食や試飲を交えながら、文化や経験を紹介します。今回は、「コロナによってあなたは変わりましたか？」というテーマで多文化座談会を開きます。

◎ セキ・ロクサンナ、ネルソン百合子

定員：各5名（要申込）  
場所：みのおキューズモール  
CENTER-2F キューズリビング  
参加費：550円



### ワークショップ

**11/23 (木・祝)  
① 9:30-16:30  
② 13:30-16:30**

### フォーラムシアター 2023

演劇型ワークショップの中で生み出される対話から問題解決を探るプログラム。

午前：寸劇の台本作り 午後：寸劇披露・鑑賞、意見交換と実践

◎ 内山唯日（多様性教育ファシリテーター・日本語教師）

定員：①5名程度②10名程度（要申込）  
場所：comm cafe  
申込み：上記QRコードからイベントページを探してフォームを送信してください  
参加費：3,000円（一般）  
無料（賛助会員・学生）



### マッチング交流会

**11/25 (土)  
13:00-16:30**

### 企業と働きたい外国人市民のためのマッチング交流会

日本で働きたい外国人市民と企業が相互理解を深めるためのイベント形式の合同説明会。企業・求職者の双方が近い距離でコミュニケーションがとれることから、雇用のミスマッチの回避が期待できます。  
参加企業募集中！

場所：講座室  
申込み：上記QRコードからイベントページを探してフォームを送信してください  
定員：求人企業6社、求職者20名  
参加費：求人企業…11,000円／社

### 交流会

**11/26 (日)  
12:00-14:00**

### ベトナムディ~ドクさんとのオンライン交流会&日越3種の麺類食べ比べ~

ベトナム出身のトゥエットさんとの協働企画。日本とベトナム3種類の麺（伊勢うどん、ミークアン、カオラウ）を食べながら、そのつながりを感じます。また、ベトナム戦争・枯葉剤の影響で結合双生児として生まれた「ベトちゃんドクちゃん」で知られるグエン・ドクさんとオンラインで交流します。

◎ グエン・ドク（平和親善大使）（ベトナムよりオンライン参加）

場所：comm cafe  
申込み：上記QRコードからイベントページを探してフォームを送信してください  
定員：30名  
参加費：2,000円（ランチ・ドリンク代込）



### セミナー

**11/30 (木)  
14:00-15:00**

### 就職支援セミナー@大阪大学箕面キャンパス

「ひとこま」を開催しているスペースにて開催。就職に関することなら、なんでも相談可。今回は「日本語での面接攻略法、模擬面接」。

場所：大阪大学箕面キャンパス3Fピロティ  
申込み：上記QRコードからイベントページを探してフォームを送信してください  
参加費：無料（要申込）

### セミナー

**12/6 (水)  
13:30-15:00**

### Café com Livros ブラジルブックカフェ

ブラジルに関する本、ポルトガル語の絵本を始めとしたさまざまな書籍を広げて、ゆる~くつながります。

場所：大阪大学箕面キャンパス3Fピロティ  
参加費：無料（申込み不要）

**唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~**

\*バレエコース：「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Diploma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才～80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース：徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者（姿勢科学士）が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前（駅より30M）  
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社)日本バレエ協会会員・AODT会員

## 他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

### みんぱく

9/14(木)  
～12/5(火)

### 特別展「交感する神と人～ヒンドゥー神像の世界」

インド、ネパールだけでなく日本やヨーロッパでつくられた多彩なヒンドゥー教の神像を展示するとともに、神と人の交流の姿を紹介して、人々が神々に捧げる愛や願いのかたちに迫ります。

場所：国立民族学博物館

観覧料：880円(一般)/450円(大学生)

無料(高校生以下)

※障害者と付添者1名無料。

※各種割引あり。

問合せ：国立民族学博物館(06-6878-8532)

### 展覧会

10/1(日)  
～12/27(水)

### 特別展「沖縄の学童疎開船『対馬丸』事件

～いま生きる私たちへのメッセージ～

1944年8月22日夜、1,788名を乗せた対馬丸はアメリカ潜水艦の魚雷攻撃を受け、海に沈みました。犠牲者の多くが学童疎開の子どもたちでした。事件から約80年後のいま、あらためて「平和」について考えてみませんか。

場所：ビースおおさか1F特別展示室

入館料：250円(一般)/150円(高校生)

無料(中学生以下)

※65歳以上、障害者無料。

主催：公益財団法人大阪国際平和センター

問合せ：06-6947-7208

### 大阪大学

11/11(土)  
13:30-15:00

### 日本文化紹介講座「異常」の日本美術史～その視線をめぐって

「日本画」の人物はどうして私たちを見ないのでしょうか。西洋の場合、モナ・リザなど多くの人物が私たちを見てくるのに、日本の人物はほとんど私たちを見てくれません。その謎を「異常」と「見る」という二つのキーワードから読み解いていきます。

(○ 岩井茂樹(大阪大学 日本語日本文化教育センター 教授)

場所：箕面市立船場図書館

定員：40名(要申込み)



参加費：無料

申込み：11/1～上記QRコード、TEL、来館で

主催：大阪大学日本語日本文化教育センター

申込み・問合せ：072-727-1033

### 姉妹都市

11/19(日)  
9:30-11:00

### 「ハット ジャパンデイ」オンライン交流会

ニュージーランドにあるハット市(箕面市との国際協力都市)でハットジャパンデイが5年ぶりに開催されます! NZ出身の国際交流員・トレスさんと一緒に、オンラインで現地と交流しましょう。

定員：15名程度

場所：comm cafe(多文化交流センター)

参加費：無料(ワンオーダー制)

申込み：072-724-6769(先着順)

主催：箕面市 人権文化部 文化国際室

### コンサート

11/25(土)  
14:00-

### 第11回 結みのおコンサート「堀江トリオが奏でるクラシックの世界」

箕面の市民団体「結みのお」が企画するクラシックコンサート。ラフマニノフ「ヴォカリーズ」、シューマン「トロイメライ」、メンデルスゾーン「ピアノトリオ第1番」ほか。世界で活躍する堀江トリオ(Vc.堀江牧生、Vn.堀江恵太、Pf.堀江詩葉)の演奏をお楽しみに。

場所：箕面文化・交流センター8F  
(みのおサンプラザ)

参加費：2,500円(高校生以上)

500円(小・中学生)

申込み：072-722-9914

yui-minoh@hcn.zaq.ne.jp

主催：ともに歩む「結みのお」

### 人権フォーラム

12/9(土)  
13:30-16:30

### 第37回 みのお市民人権フォーラム 全体会

### 「つながりあう力 豊かな社会～村木厚子さんと考える」

2009年「垂政不正事件」で冤罪逮捕され、164日間の勾留生活を経験した村木さんを講師に迎え、「箕面市人権宣言」30周年、「箕面市人権のまち条例」20周年を記念して行います。あつまつた皆さんと一緒に、どうすれば「誰ひとり取り残さない、地域共生社会」を実現できるかを考えます。

(○ 村木厚子(津田塾大学客員教授、若草プロジェクト代表呼びかけ人)

参加協力券：全体会+分科会…1,000円  
分科会フリーパス…500円  
(オンライン同額)

※参加協力券は、協会のほか

市内計11ヶ所で取り扱いしています

場所：【全体会】

メイプルホール 大ホール

【在日外国人 分科会】

萱野小学校 体育館

※紙面で紹介したもの以外にも、分科会があります。くわしくは、挟み込みのリフレットなどをご覧ください

主催：みのお市民人権フォーラム実行委員会  
(072-722-2470)

*coupe de Minami*

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

### 町屋で楽しく洋服をつくるませんか?



ボディに布を直接  
のせて服をつくる  
みましょう!  
(立体裁断)

南正枝 プロフィール(略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、  
デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話/FAX 072(721)4151  
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

## めろん編集ボランティアスタッフ 募集中！

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください！編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

## めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めろん」をお読みいただきありがとうございます。「このテーマをもっと掘り下げてほしい！」「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めろんで取材にきませんか？」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集中！info@mafga.or.jpまでお寄せください。

## 編 集 後 記

2016年11月、旅の始まりはバンコクのチャオプラヤー川。ホテルでアーリーチェックインをすませた私と夫は、休憩もそこそこに船着場に向かった。三島由紀夫の「暁の寺」で有名なワット・アルンへ向かった。暁はとっくに過ぎていたが、一番に行きたい場所だった。水上バスには出勤や通学のためだらう、地元の人が多く乗っていた。料金は船内徴収で、私たちに小銭の持ち合わせがなかった。お札を出したが単位が大きかったのか、お釣もなかった。すると、そばにいた若い男性が、さっと私たち二人分の船賃を払ってくれた。彼は学生で、これから講義を受けにいくのだと、次のステーションで降りていった。お札を言うのがやつて、私たちは彼の後ろ姿を見送った。金額はランチ一食分ぐらいになったのではないかと考えると、自分たちの不用意に申し訳ない気持ちでいっぱいになった。

旅先では親切が身にしみる。スイスの、もう名前も覚えていない街。山の上から眺望を楽しもうと、手元の地図を頼りにロープウェーの乗り場を探したが見つからない。それで、通りがかりの男性に道を訊いた。手には、ランチの飲み残しらしきワインの瓶が握られていた。車で乗り場まで連れていくよと申し出てくれたので、躊躇はしたものの、お言葉に甘えることにした。途中、バス停に停まり、高校生ぐらいの男の子を拾った。息子だという。後部座席に私たちを認めてニコニコしながら乗り込んできた彼とは、挨拶と短い会話を交わした。瓶のワインは残り少なかったが、私たちは、無事、目的地に届けられた。ゴンドラに揺られて着いた山頂からは、しかし、濃い霧のために何にも見えなかつた。三十数年前、スマホのなかった時代の話である。

過ぎゆく人たちから受け取った親切は、別の誰かにお返ししたい。最近になって、それを表す言葉を知った。「恩送り」という。(山下)

### » アクセスマップ »



### オレンジゆづるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」  
または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
- (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m  
※「多文化交流センター前」には停まりません。

### 阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原
	175, 176	② 小野原西
	70	③ 小野原南
	70, 78	④ 小野原西5丁目
阪急石橋から	92	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
		⑥ 小野原
JR茨木方面から		⑦ 小野原西
		⑧ 小野原

### 「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鶴尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグワ ムンフバヤスガラン、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/